国際規則・規格策定に貢献してきた
先駆者ならではのワンストップサービス

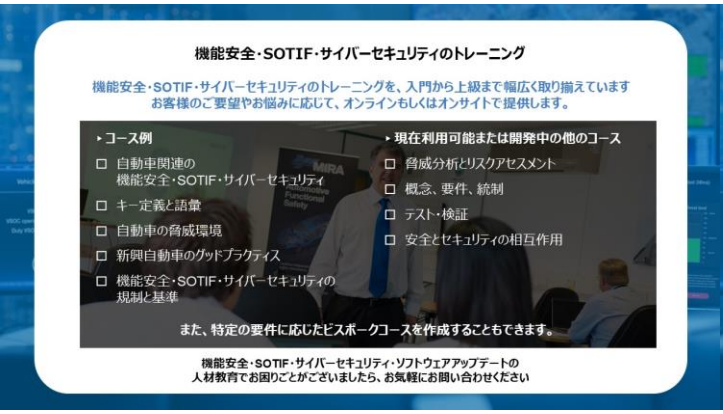
近年、自動車に搭載されるE/Eアーキテクチャは、車両の電動化や自動運転・コネクテッド機能の搭載により、進化し続けています。これらの新しいシステムに対しても、安全に対する取り組みは欠かせません。
従来の安全規格である機能安全に加えて、さらなる安全やセキュリティを実現するためにSOTIF・サイバーセキュリティ・ソフトウェアアップデートなどの新たな自動車向けの国際規則・規格も策定されています。

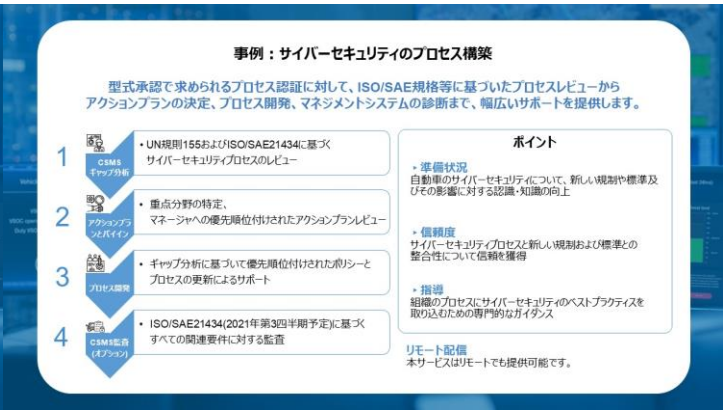
HORIBAは、これらの各種国際規則・規格策定*に貢献してきた先駆者であるHORIBA MIRAの知見をベースに、車両E/Eアーキテクチャにとどまらない安全・セキュリティ対策のワンストップサービスを、お客様の状況に応じて提供します。

*MISRA, ISO26262, ISO/PAS 21448, SAE J3061, UNECE R155, R156, ISO/SAE 21434, ISO 24089

本件について、お問い合わせはこちらから： https://horiba.link/K-Enquiry

機能安全・SOTIF・サイバーセキュリティの トレーニング・プロセス構築





● トレーニング

各種国際規則・規格策定に携わっているHORIBA MIRAの専門家によるトレーニングを、入門から上級まで幅広く取り揃えています。**安全解析技術を含む機能安全技術コースや、新しい国際規則・規格であるSOTIF・サイバーセキュリティ・ソフトウェアアップデートのトレーニングも用意しており、お客様のご要望やお悩みに応じて、オンラインもしくはオンサイトで提供します。**
機能安全トレーニングは、2011年より日本自動車研究所（JARI）様と連携し、JARI様のサービスをサポートし続けてきました。機能安全・SOTIF・サイバーセキュリティ・ソフトウェアアップデートの人材教育でお困りごとがございましたら、お気軽にお問い合わせください。

● プロセス構築・改善

E/Eアーキテクチャやそれに含まれるコンポーネントの開発において必要とされる機能安全プロセスに加えて、サイバーセキュリティ・ソフトウェアアップデートでは国際規則による車両型式承認においてプロセス認証も求められます。**ISO/SAE規格等に基づいたプロセスのレビューから、アクションプランの決定、プロセス開発、マネジメントシステムの診断まで、幅広いサポートを、国際規則・規格の行間を読めるHORIBA MIRAが提供します。**一からプロセスを構築する場合でも、お客様の既存の組織プロセスに新たな規格（SOTIF・サイバーセキュリティ・ソフトウェアアップデートなど）を組み込む場合でも、お客様の現状に合わせたプロセス構築を実現します。